

地域とともにある学校づくり推進フォーラム

磐田市教育委員会の目標

ふるさとを愛し、未来をひらく、
こころ豊かな磐田市民



平成27年8月27日

磐田市教育委員会学校教育課 袴田 恭紹

1. 磐田市の概要

2. 磐田市の小中一貫教育

3. 磐田市のコミュニティ・スクール

4. 実践のスタート

5. 現在の取組

6. 成果と今後の課題

平成17年4月
5市町村が合併
人口約17万人が生活する町



概要①

磐田市の人口と面積



磐田市

面積

164.08平方キロメートル

人口

約

170,696

人

概要②

平成27年7月末現在

磐田市の学校

公立小学校22校

公立中学校10校

私立中学校1校

公立幼稚園17園

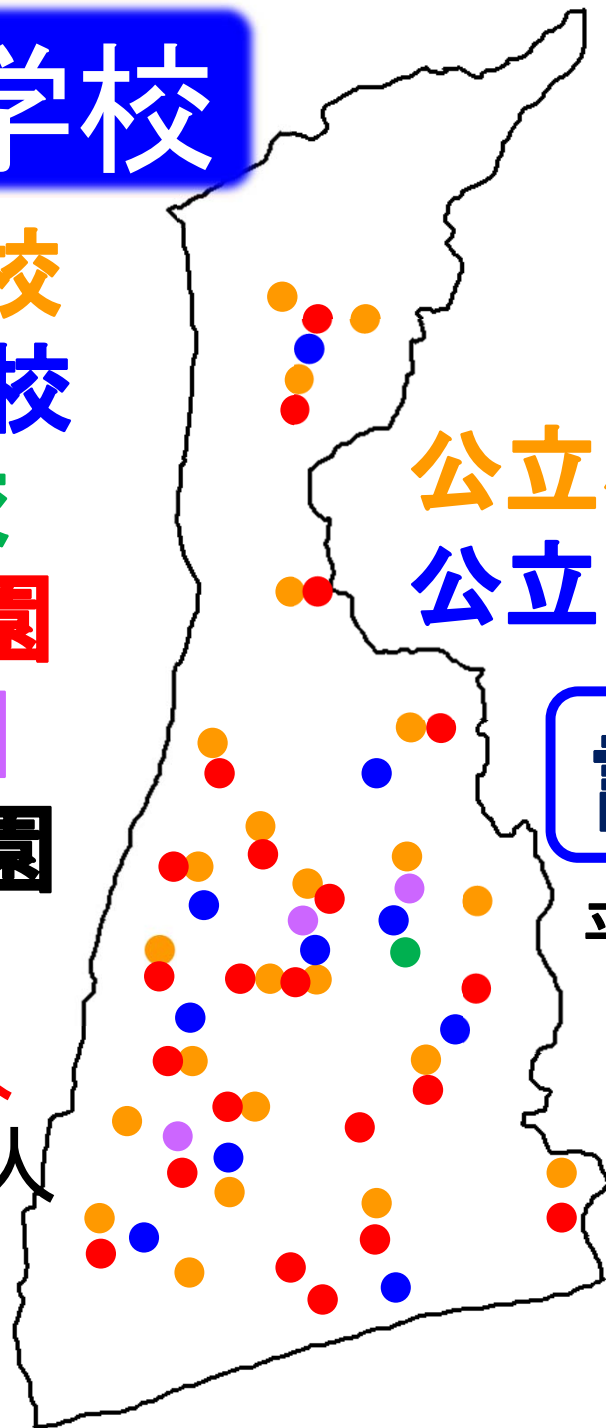
私立幼稚園3園

公立こども園3園

公立幼稚園1975人

公立こども園301人

概要③



公立小学校9,354人

公立中学校4,556人

計 13,910人

平成27年5月1日現在

磐田市の位置



概要④

概要⑤

CGで復元された国分寺

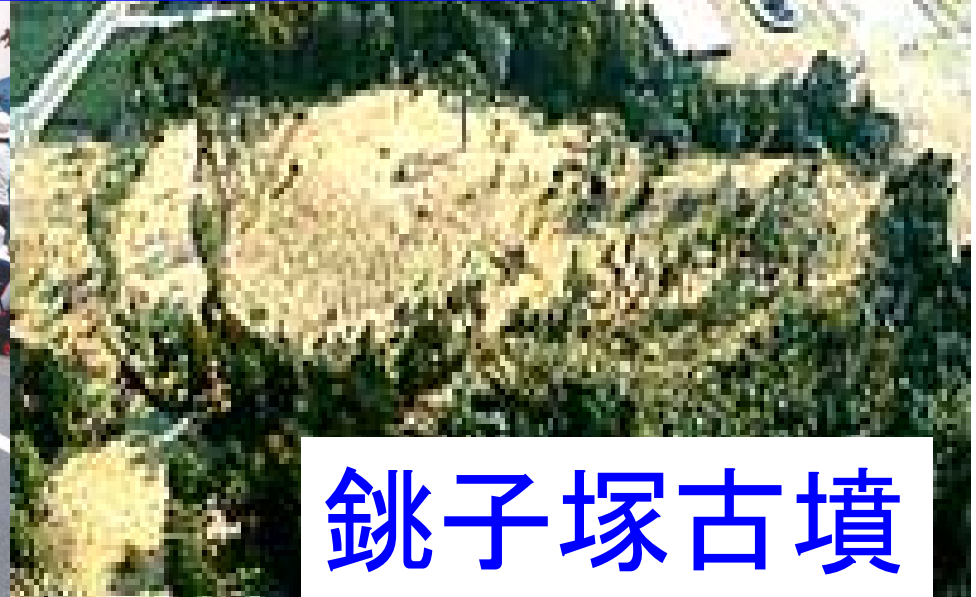


遠江国分寺跡

歴史が語りかけるまち



遠州大名行列



銚子塚古墳

磐田市の教育の原点



日本最古の木造洋風小学校舎

指定文化財(国)

概要⑥

概要⑦



工業のまち 農業のまち スポーツのまち



一人ひとりを生かす「ふるさと先生」制度
(磐田市版35人学級)

概要⑧

市町村費負担教職員任用事業を申請

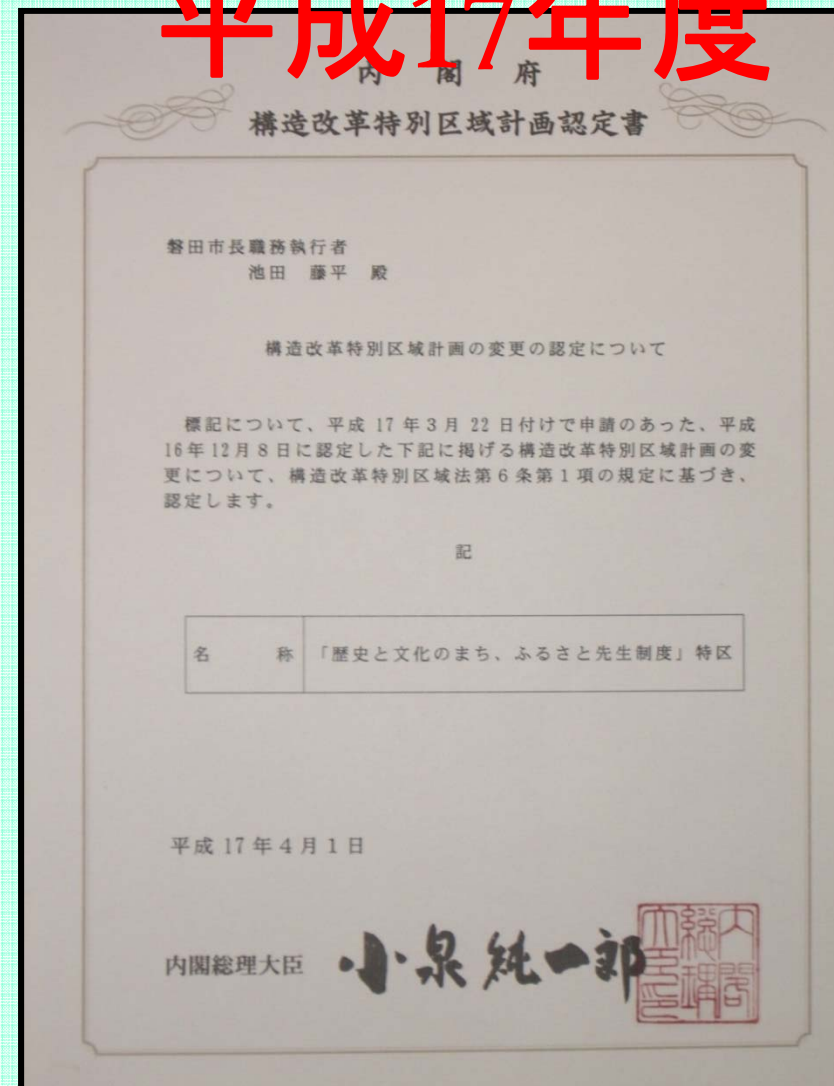
平成17年度

市内全小・中学校(33校)へ

市費負担教員の任用=35人学級の実現


一人一人の子どもに光を

「確かな学びの力のある子」
「郷土を愛する豊かな心を持つ子」の育成



ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民

めざすこと



The diagram shows a central green oval containing two schools: 'A 中学校' (A Junior High School) at the top and 'B 小学校' (B Elementary School) at the bottom. To the left is a red arrow pointing right labeled '合同会館' (Contract Hall). To the right is a red arrow pointing left labeled '市民会館' (Citizens' Hall). Below the schools is a red arrow pointing left labeled '協働実践' (Collaborative Practice) and '活動交流' (Activity Exchange). At the bottom left is the text '地域コミュニティ' (Local Community).

実践

一貫①

子ども観・指導観の共有 15年間の学びの連続性

土台

地域力 一人一人にふさわしい教育の推進

学府

A中学校

兼入授業

合同多講

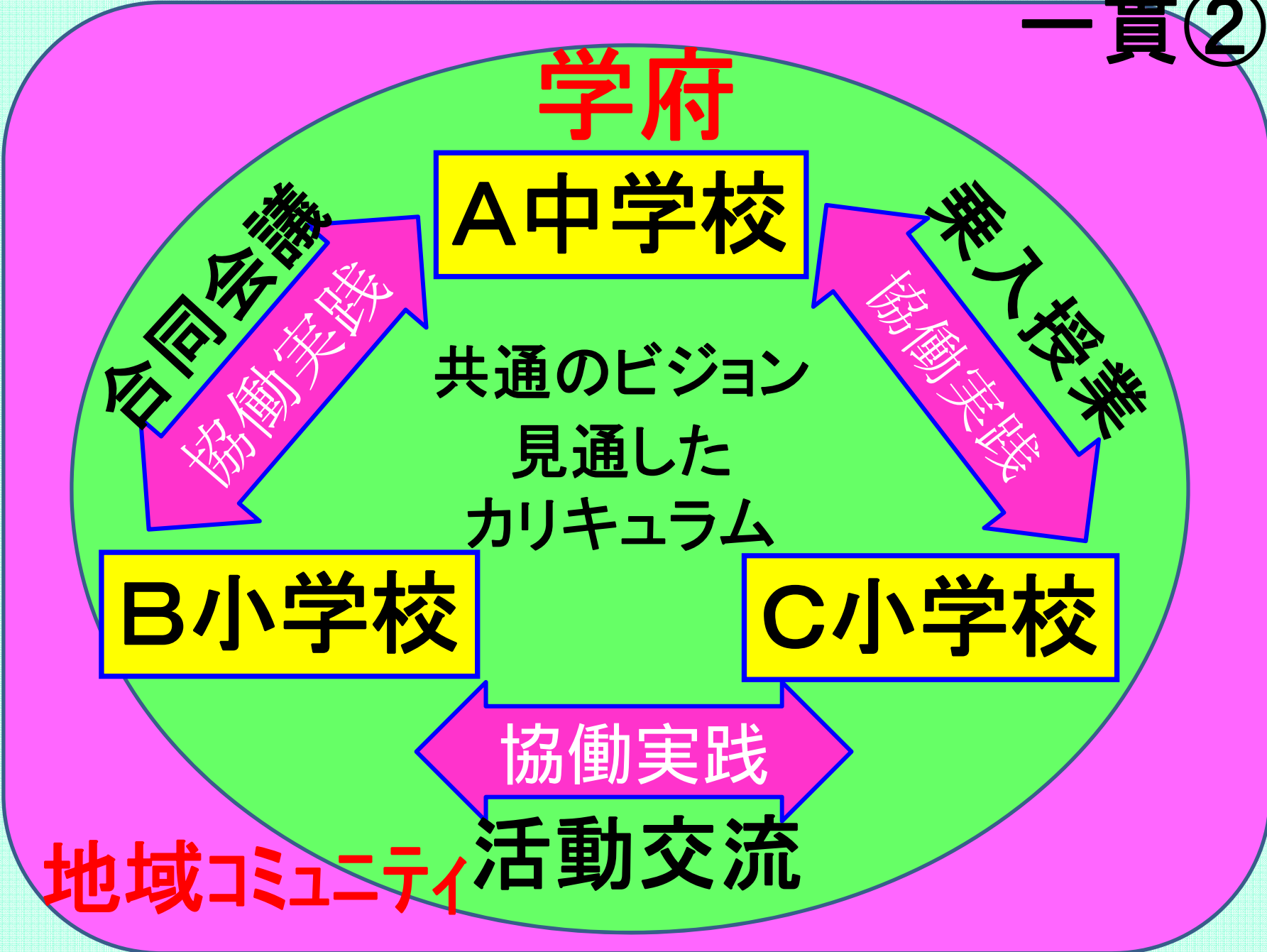
共通のビジョン
見通した
カリキュラム

B小学校

C小学校

協働実践

地域コミュニティ活動交流



小中一貫教育で期待される効果

系統的・継続的
豊かな人間性・社会性
地域に貢献する人材

地域の教育力向上
学校と地域の活性化

子どもが
変わる

地域が
変わる

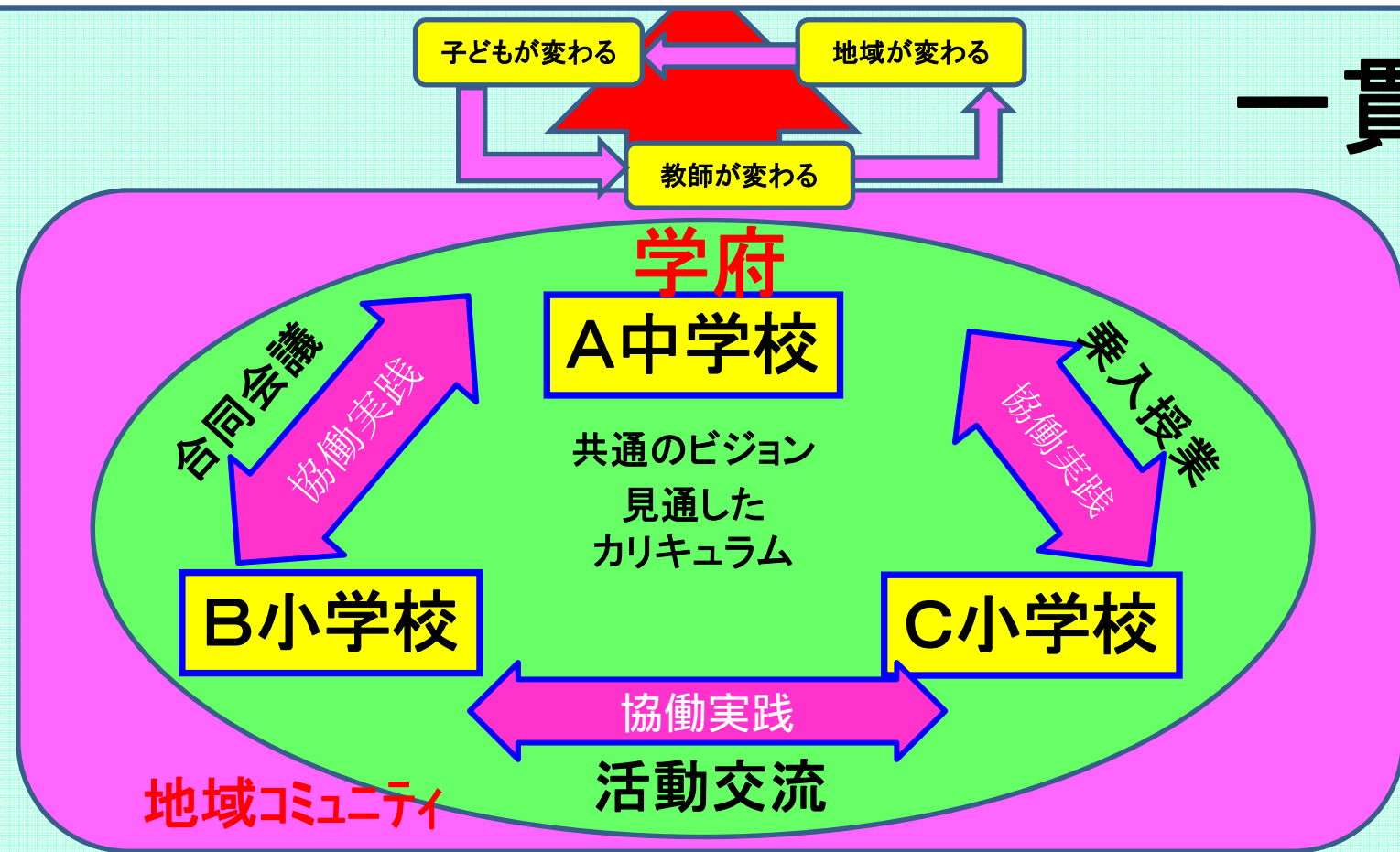
教師が
変わる

資質・指導力の向上
個に応じた指導や支援

一貫③

ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民

一貫④



子ども観・指導観の共有 15年間の学びの連続性

地域力

一人一人に応じた教育の推進

学府とは

小中一貫教育を行う各中学校区の小中学校全体のこと

学校が地域社会とともに、学府一体となって協働して推進

地域と結びついた一つの学校という意識を持てるように

「 学府 」命名

（他市町では「 学園 」等を使用）

学府 = 学問の中心となるところ。学校。

一貫⑤

磐田第一中

豊岡中

向陽中

南部中

豊田南中

福田中

豊田中

城山中

神明中

竜洋中

学 府

なかいずみ

とよおか

向陽

みなみが野

井通・青城

はまぼう

ながふじ

よつば

みやのもり

竜洋

小中一貫教育で大切にしたいこと

①導入・推進計画の作成

- ・目指す子どもの姿
- ・推進体制
- ・推進方法

②全職員がかかわり相互理解を促進

- ・互いの学校、授業、生活指導を知る。

③地域とともに推進

- ・子どもの将来像、学府のねらいを理解
- ・思いを受け止める
- ・地域に根ざした小中一貫教育

一貫⑦

なかいずみ学府での取組

一貫⑧



隣接している地の利を生かし
乗り入れ授業
子ども同士の交流

中学校英語教師の乗り入れ



学府内の小中教員同士による情報交換 やカリキュラムの作成



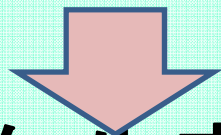
磐田市小中一貫教育

教育委員会の願い

英語コミュニケーション

能力の向上

- ☆小学校1年生から外国語活動
- ☆9か年モデルカリキュラムの作成
- ☆ALTとの授業を多く実施



ALT: 外国語指導助手

中学校3年生卒業時に

◎ゆっくりなら英語で話ができる子

一貫⑪



評価 表情

一貫⑫



English 1day Camp at Nagafuji Gakufu H27.7.24

評価 かかわり

一貫⑬



English 1day Camp at Nagafuji Gakufu H27.7.24

コミュニティ・スクール指定状況

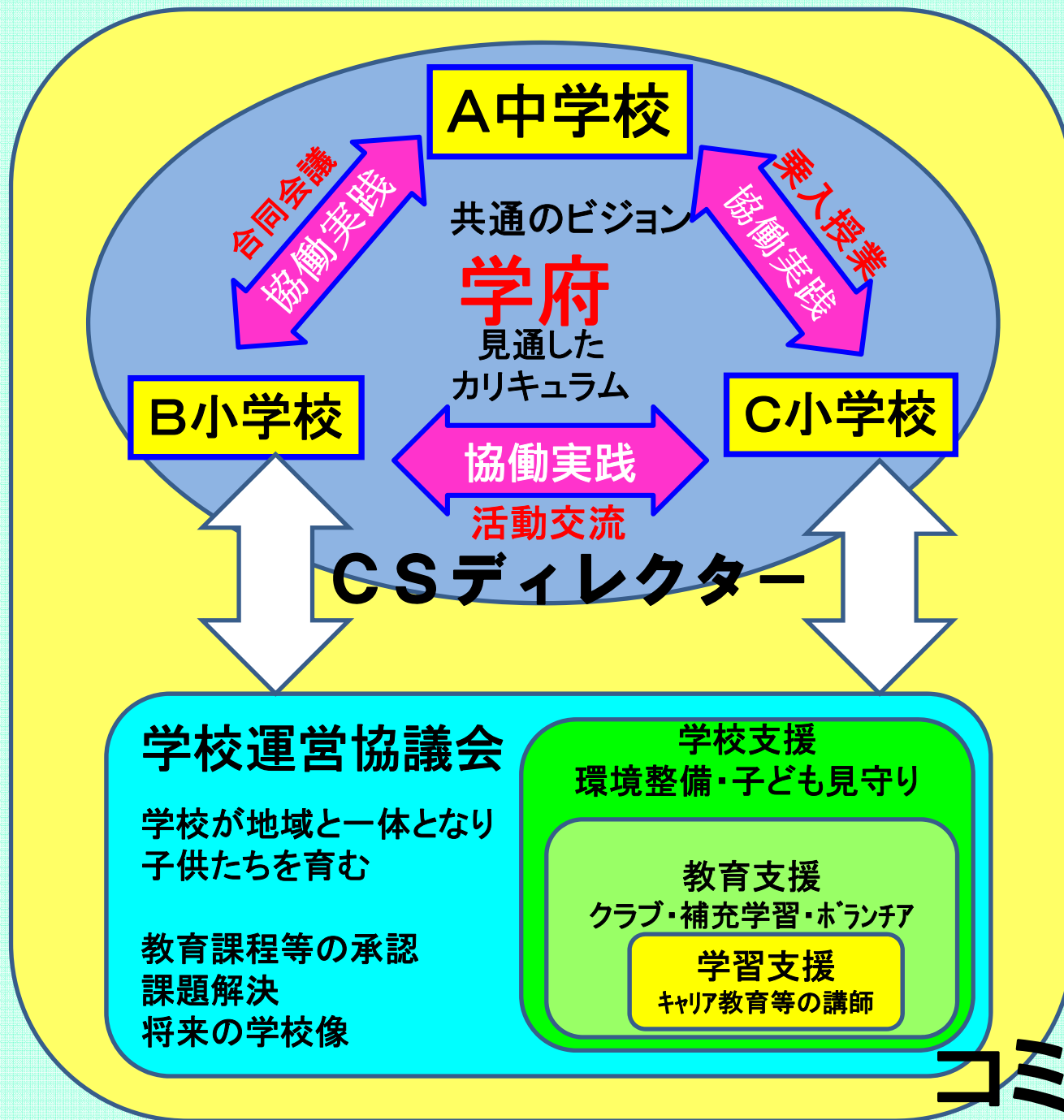
実施校

平成25年度 4校【小2校、中2校】

平成26年度 18校【小12校、中6校】

平成27年度 全小中学校で実施

コムスク①



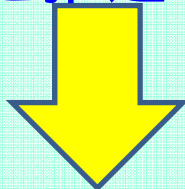
コミスク②

背景と経緯

平12 国 学校評議員制度

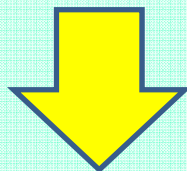
平成11年度「学校協議会」を設置

学校運営への保護者や地域住民等の参画を得て地域に開かれ
信頼される学校づくりを推進するため

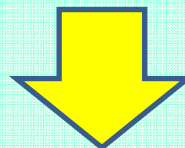


平成17年度に1市3町1村が合併

小学校23校、中学校10校が各地域の実情に応じた学校協議会



平成25年度 学校協議会を学校運営協議会制度に移行 **4校**
学校運営への保護者や地域住民の参加・参画が促進



現在の教育を取り巻く問題や課題を解決

コミスク③

地域とともにある学校

学校協議会設置から10年以上経過

文化継承部会

授業づくり部会

学校づくり部会

地域人材部会

例 城山中学校
「よつばプロジェクト」
大学との連携を図っています。

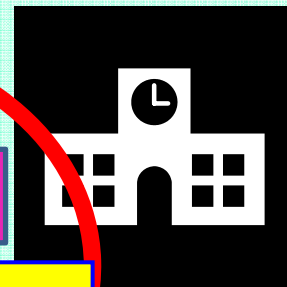
コミスク④

学校運営協議会を実のあるものにするために

指定・任命

学校運営協議会

説明



教育

学校運営協議会委員は
何をすればよいか

校長

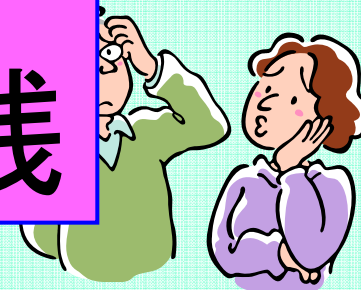
音目

委員の資質向上
学校の具体的実践



菜スク⑤

保護者・地域の皆さん



具体的な実施状況(豊岡南小学校)

実践①



学校運営協議会への啓発を図ること
充実させること・見通しをもつこと

- 6月17日(月) 学校運営協議会の趣旨
学校の経営方針、学校や児童の様子
- 7月 9日(火) GC科授業参観、豊岡中学校区幼
- 10月5日(金) 学校運営の進捗状況、児童の様子等
- 2月4日(金) 平成25年度学校評価について
26年度の学校経営・教育課程等承認

丁寧に説明することで、質問が多く出されるようになった

自主的に学府協議会を立ち上げた。
10月9日(水) 地域をどのようにして学校に取り込むか
スローガン作成



実践②

小中学校全体の学府として、一貫教育との関係で、どのように学府の教育を地域として、支え、さらに参画できるか話し合いを行った。

PTA主催研修

実践③

「地域で教育を語る会」7月20日(土)13:00～16:30



コミュニティ・スクールの目的や仕組みを研究・学習し、今後の展開を考える場とした。

この会以降においても、各種研修会等で、コミュニティ・スクールの必要性や具体的な取り組みについて説明などがされた。

先進実践校視察

実践④



7月6日(火)

東京都三鷹市立第4中学校、三鷹市教育委員会

7月18日(木)

京都府京都市立新町小学校

10月10日(木)～11日(金)

山梨県甲斐市立双葉西小学校、甲斐市教育委員会

11月26日(火)

京都府京都市立京都御池中学校、京都市教育委員会

視察で学んだこと

☆地域の方も経営に参画している。

☆ボランティア組織がしっかりしている。

☆磐田市の学校が行ってきたことの延長線上にある(安心)

磐田発 コミュニティ・スクールフォーラムの開催

学校運営協議会について理解を深めることを目的とした

期 日 平成26年8月26日(火)

参加者 学校運営協議会委員119人(32校)

教職員62人(33校)議員・行政職員20人

他市町参加者35人(17市4町)

内 容

コミュニティ・スクールとは(概要説明)

実践紹介(磐田市立豊岡南小学校)

パネルディスカッション

実践⑤

4 強く思う そう思う あまり思わない 全く思わない

コミュニティスクールについて理解が深まりましたか？

	提出者数	評価				平均
		4	3	2	1	
学校運営協議会委員	105	38	53	13	1	3.22
行政職員	19	11	8	0	0	3.58
教職員	66	27	37	2	0	3.39

87.9%

学校の現状について理解が深まりましたか？

	提出者数	評価				平均
		4	3	2	1	
学校運営協議会委員	105	43	45	17	0	3.25
行政職員	19	10	8	1	0	3.47
教職員	66	27	34	5	0	3.33

90.0%

今後に活かしていけそうですか？

	提出者数	評価				平均
		4	3	2	1	
学校運営協議会委員	105	35	54	14	2	3.16
行政職員	19	12	7	0	0	3.63
教職員	66	29	34	3	0	3.39

91.6%

コミュニティ・スクールフォーラムの感想・意見

全国の現状・情報を得る事ができ、いろいろな見方の話を聞くことができ参考になった

何を求めてコミュニティ・スクールにするのか考えてみたいと思う。

コミュニティ・スクールで、すべきことのイメージがはっきりした。

地域の人を巻き込んで、いろいろなことができると思った

教育は、学校任せではなく、地域が積極的に関わることが必要であることが分かった。

協議会と学校を結ぶ調整役が必要ではないかと思う。

学校で抱えている問題について、もっと地域に投げかけてほしい。

コミュニティ・スクールのメリットをもう少し知りたい。学校のメリットは伝わったが、地域のメリットが分かりにくかった。

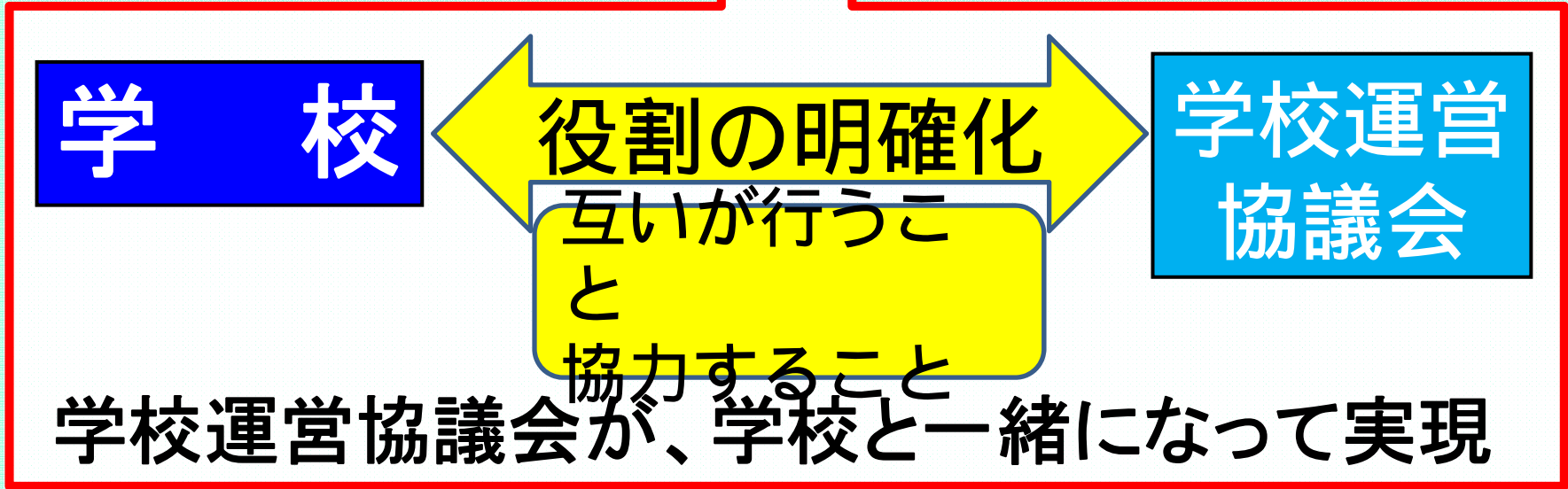
実践⑦

今までの取り組みとどう違うのか曖昧な感じがした。

学校運営協議会委員の資質向上と学校の実践力向上

目指す学校

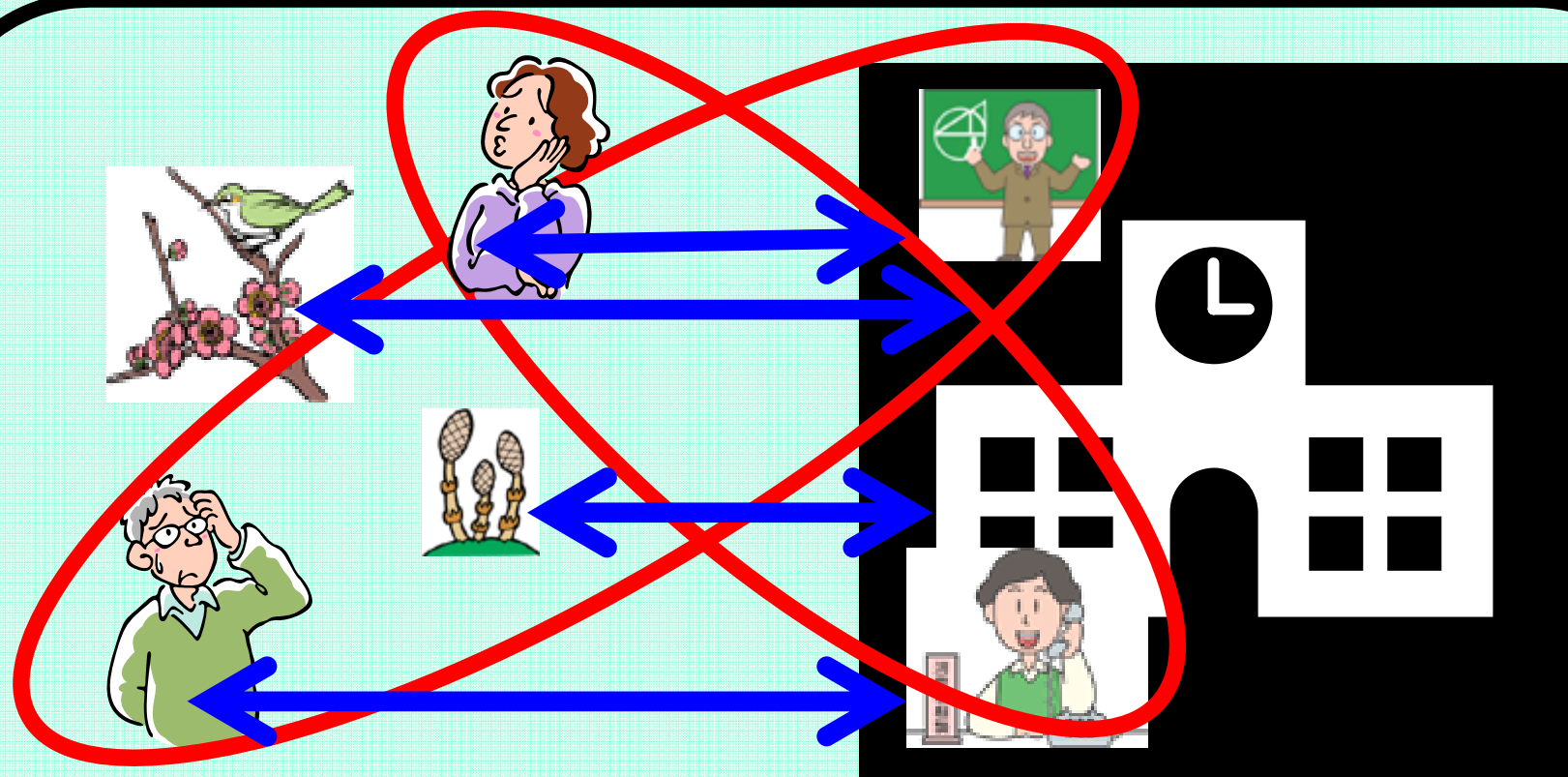
今取組①



学校運営協議会も学校も認識を変える必要性

学校運営協議会委員の資質向上と学校の実践力向上

CSディレクターの役割



学校と地域をつなぐ

今取組②

教師と地域をつなぐ

26年度の取組【CSディレクター】

- ☆職場体験受入事業所との連絡調整
- ☆地域ボランティア参加依頼、連絡調整
- ☆オイスカ高校留学生との交流補助
- ☆クリーンデー 計画運営補助
- 各会議の記録作成
- ボランティア募集
- コミュニティルームや昇降口への掲示
- 文化発表会PTAバザー計画運営実行



今取組③

27年度の取組【CSディレクター】

新たな取り組み

- ☆体育大会へ幼稚園・地域参加行事
- ☆クリーン活動ボランティア確保
- ☆国語、書道補助



住民らが経験語る

合文化祭のパレード部門とマーチングバンド・バトントワリング部門への出場を決めた。

「こつこつ進む」

磐田市豊田北部小
住民らが経験語る

磐田市豊田北部小学校で十七日、地元の人たちが経験や仕事を話す授業「よっこそ先輩」があり、地元の会社の社長やPTA役員ら十人の話を六年生が聞いた。

児童六十七人が分かれ、希望する教室で受講した。登山が趣味という池田の工藤裕二さん(モコ)は人生を登山にたとえ、「目標に向か

って自分を励ましたながらこつこつと進めば、やり遂げられる」と話した。

製造業を営む榊田義高さん(四〇)は、鉄で作った家具の展示会で訪

れたイタリアでの体験を語った。「イタリア人は食事やおしゃべりに時間をかける。れんがの建築物もすばらしかった」と日本との違いを説明した。



児童たち＝磐田市豊田北部小で

今取組⑤

ながふじ学府キャリア教育 「こつこつ進もう」



住まいと人間



君の命



町のすばらしさ



夢はかなう

今取組⑥

地域の部屋 コミュニティルームの設置



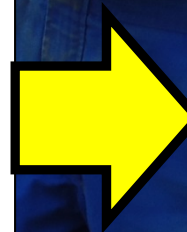
地域の人がいいつでも
学校に来ることができる

今取組⑦

豊岡南小学校3年生 えびいも定植



地域の人とのつながり
地域のよさの発見



自分が住んで
いる地域

豊岡南小5年生 田植え

地域の人とのつながり



自分たちへの期待・思い

今取組⑨



学府交流会

今取組⑩



幼稚園児・保育園児
小学生・中学生の交流

地域ボランティアが
入っていくことを検討

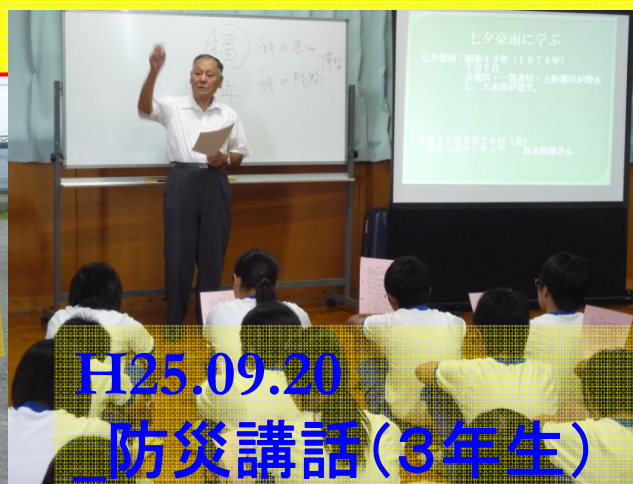
研究指定校における成果

成果課題①

先進実践校視察で、具体的な成果や課題を聞く事ができ、コミュニティ・スクールの在り方について示唆を得る事が出来た。

講師招聘による研修会で、コミュニティ・スクールの目的や仕組み、今後の展開について知ることができ、助言をいただくことができた。

委員の方から、学校に協力し、力になりたいとの意見が出された。



(生徒アンケートより)

成果課題②

未来の豊岡について

- ☆自然や環境を大事にし、安全に暮らせる豊岡に。
- ☆地域の人の優しさを思いやれる人間づくり
- ☆人と自然が共存して生きる豊岡
- ☆伝統行事を守り、コミュニケーションが自然に取れる社会
- ☆豊岡の魅力をもっと引き出し、全国に知ってもらい発展
- ☆自然を利用した企画をし、自然そのままの豊岡を発展



CSのあり方を学校運営協議会委員自身が探ることができた。

学校運営協議会委員から今後のCSの取り組みについて建設的な意見をいただくことができるようになってきた。

考えを深めたり、今後の見通しを持ったりすることができた。

協力して子どもを育てていくことへの意識が高まった。

成果課題③

学校が地域の思いや願いを受け止め、協働する

今までの研究により

子どもたちの豊かな成長を支えていくことにつながる

今後の課題

継続的に学校にかかわってもらえることができる地域人材の発掘

②活動のためのシステムづくり

③コーディネーター役を果たせる人材を確保

成果課題④

指定校における課題

○成果を子供の姿で評価できるようにすることが欠かせない。評価方法が課題である。

○委員の負担を増やさないことが大切という話を聞いているので、今年度以上に負担が増えないようにしていきたい。

成果課題⑤

CSディレクターとして考える課題

★職員への周知【役割の明確化】

★職員との連絡調整

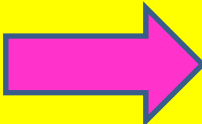


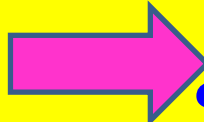
成果課題⑦

今後の取り組み

成果課題⑥

(1) コミュニティ・スクールのさらなる理解
課題を学校だけでなく、地域とともに解決の道を探していく

(2) 自分たちの学校を良くしていくための計画立案と予算準備
人的配置(非常勤職員等)
裁量で使用できる予算の確保  **予算化**

(3) 学校経営の一躍を担っているかどうかの見直し
学校運営協議会で議論する  **より市民に近い結論**

学校運営協議会委員の資質向上

学校経営に参画していこうとする意識の高まり